

ネクストあつぎ



先を見据えた政策集団!

令和新時代、将来を見据えた街づくりを目指し、若い力が結集しました。市民の皆様の声をしっかり受け止め、政策提言をしてまいります。

本厚木・愛甲石田駅 周辺まちづくりを推進 瀧口慎太郎(4期)

都市経済常任委員長

山口新市長就任の元、組合を始めとする関係者本厚木駅北口については、利者や関係機関とも情報「市民の誇りとなる玄関 共有や意見交換を図りながら検討を進めていくことを目指し、この機会のことです。」



100年に一度の契機と捉え、本厚木駅北口地区と中町第2・2地区(厚木バスセンター・複合施設)を一体的な面として捉え、本庁舎跡地の有効活用も見据え、駅北口をデザイン・機能性に優れた街並みに整備するため、機能の充実を図るとし、の検討をしており、本検討においては本厚木駅北口地区市街地再開発準備説明会を実施しました。多くの市民が期待する両事業であり、着実な早期実現を推進します。

3期目も議会の中から全力 市民協働・安心安全を推進 田口孝男(3期)

環境教育常任委員長

◆自治会支援に全力 複雑化・多様化する地域社会で市民協働の必要領域は安心安全、子育て福祉、防災と多岐に及ぶ。しかし現代社会は様々な要因で近所付き合いは希薄に…。地域の力の基礎、自治会活動の活性化が急務です。



◆交通安全に全力 近年、車の安全性向上等により交通事故の件数が減少する中、自転車事故の割合は増加傾向にあります。高評価を受け「厚木モデル」として成熟期を迎え、他の認証自治体の動向や費用対効果などを検証し、次のステップを目指します。

厚木秦野道路を 少しでも前へ! 堀江克己(1期)

都市経済常任委員長

厚木秦野道路について、完成に向けて市としての積極的な取り組みは、A.今年度から、未事業化区間(小針から玉川地区)において、事業化後に用地取得が円滑に進められよう地籍調査について取り組むところです。



◆これも皆様の声を市政へ届けていきます。

ごみ有料化必要なし 神子雅人(6期)

会派代表

山口市長の答弁は、「市民の努力のおかげ」「現在、家庭ごみの有料化は必要なし」の理由と考え、今後市長は、ごみの有料化ごみ減量を推進します。

農産物のブランド化

Q.農産物のブランド化計画で「ごみ減量の達成目標の進捗状況に」

あり、「現状は、市民、関係団体等の皆様のご協力により、年度ごとの減量の目標を達成している

ので、現在有料化する必要はない」と私の一般質問に答弁しました。



シの確立が目標だが、本年度だけでなく、次年度以降も継続して取り組みを支援します。

愛甲石田駅周辺 まちづくり基本構想 高橋豊(3期)

副議長

愛甲石田駅周辺は「都市計画マスタープラン」において、「都市拠点」として位置づけられている。愛甲石田駅の乗降客数は、人口増加、周辺企業の立地等により、北口前広場及び橋上駅舎が開業の立地等により、北口の生活を支える商業施設不足、愛甲宮前交差点を中心とした交通混雑、駅舎及び駅前広場の機能充実、駅周辺のみどりの



私、この課題を一つ一つ解決して、皆さまに寄り添い前に進めて参ります。

「今」何が必要かを考える 奈良直史(2期)

議会運営委員会副委員長

「全体で避暑」を「抜けど対策」を

厚木市の日平均気温の月平均(気象庁調べ)を40年前と今年で比較すると8月は2.7度、7月12号までの1.3度には5.2度上昇している。原因とされる温室効果ガス削減に向けた取組みは国全体で行われているが、効果が現れるまでに時間がかかるため、夏季に実施するイベント・教育関係行事では時期変更を、また、市発注建設工事では工程余裕期間の確保を訴えました。



市政に初挑戦した時から掲げている「抜けど問題解消」のため引き続き取り組みます。

9月議会一般質問 市長公約の「スポーツの聖地」 山口保子(1期)

環境教育常任委員長

Q.「スポーツの聖地」にふさわしいソフト事業の進め方は。 A.全国規模の大会が開催できる施設を整備し、各種競技の中心地となるようなスポーツ環境の充実を図ることが重要。また、整備された施設を活用し、トップアスリートのプレーを観戦する機会や各種競技の全国大会の誘致など、スポーツを「観る・支える環境づくりに取組、スポーツの聖地と呼んでいただけるよう施策を進めます。



ご回答を頂きました。市民の皆様へ寄り添えるように、一生懸命取り組みます。